

20100

OFDI を用いた Rotablator の回転数の違いによる ablation 効果の検討

【目的】冠動脈の石灰化の治療に対して Rotablator を用いることが多い。そこで Rotablator の回転数の違いで ablation 効果に違いがでるか検討してみた**【方法】**2014/01/01 から 2015/06/01 まで PTCA で Rotablator を施行した際 OFDI を用いた 45 症例を対象した。その中で Rota 回転数を 15 万回転以上で施行した群を 1 群(9 症例)・15 万回転以下で施行した群を 2 群(36 症例)とした。群ごとに同じ bar size のグループに分け、MLA の部分が回転数によってどのくらい削れ具合に差があるか OFDI により計測した。**【結果】**1 群の MLA の内腔面積比は 1.511、2 群の MLA の内腔面積比は 2.489 となり、低速の 2 群の方が内腔面積比は大きかった。そして、ablation 時間は 1 群では平均 14.4sec、2 群では平均 22.8sec となり、低速の方が ablation 時間を要することが分かった。**【考察】**興味深かった一例に、同じ bar size で同郡であるが、wire を FROPPY から EXSP に変更した際に wire バイアスがかかり、削れ方に差がでた。**【結語】**結果より低速の方が内腔面積比は大きくなるが、他の要素でも ablation 効果に影響してくることを考慮しなければならない。